

2006年1月1日発行

エコ・リサ通信

第52号

NPO法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会会報
発行人 高木 康夫

エコ・リサイクル交流集会 2006

全体テーマ「循環型社会の費用はどうする、どうなる！」

今年度の基調講演は「改正容リ法の費用はどうする、どうなる！」をテーマに取り上げパネルディスカッション形式で開催いたします。国は現在、容器包装リサイクル法の改正に向けて審議されています、実際の現場での状況や処理費用の負担は・・・？など、様々な立場からパネリストに意見を述べていただきます。

午後には3つの分科会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

<日時> 2006年1月28日(土)

午前10時から午後4時30分 受付9時30分より

<会場> さいたま市民会館うらわ(浦和駅西口徒歩7分) <参加費> 無料
さいたま市浦和区仲町2-10-22
TEL 048-822-7101

<対象者> 県内で環境・リサイクル活動に取り組んでいる団体の構成員、行政関係者、リサイクル関係事業者、その他環境・リサイクルに関心のある方(定員300人)

<参加方法> 参加申込書に必要事項を記入し、郵送又はFAXにより、お申し込みください。なお、分科会に参加を希望される方は、裏面の各分科会の概要をご確認のうえ、希望の分科会名を第2希望まで記入してください。ただし、定員の関係上ご希望の分科会に参加できない場合もございますので、ご了承ください。
(参加できる分科会は、当日受付でお知らせします。)

<申込み> 〒330-9301 県資源循環推進課(郵送の場合、所在地の記入は不要です。)
ごみ減量化・リサイクル促進担当 齊藤

電話番号048-830-3106 FAX番号048-830-4791

必要事項を記入の上、県資源循環推進課のホームページ

(<http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BC00/core.html>)

電子メール(a3100-02@pref.saitama.lg.jp)でもお申し込みいただけます。

<交流会> 分科会終了後、503・505の会場で交流会を開催します、講師の方との交流も予定していますので、是非ご参加下さい。

会費：3,000円(軽食と飲み物をご用意いたします。)

<主催> 特定非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会、埼玉県

エコ・リサイクル交流集会2006プログラム

9:30 パネルディスカッション受付開始 10:00 主催者あいさつ

< パネルディスカッション (10:30~11:50) の概要 >

10:30 パネルディスカッション テーマ「改正容リ法の費用はどうする、どうなる！」
国は現在、容器包装リサイクル法の改正に向けて審議中です。そこで、環境省、地方自治体、企業及び市民の代表の方にお集まりいただき、パネルディスカッションで熱くご意見を述べあって頂きます。

パネリスト 藤井康弘氏 (環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室長)

佐野 豊氏 (埼玉西部環境保全組合次長)

根岸俊文氏 (ヤオコー営業企画局環境問題実務局)

奥山玲子氏 (川崎ゴミを考える連絡会)

コーディネーター 土淵 昭氏 (特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会)

12:00 休憩

13:00 分科会受付開始 3つの分科会に分かれて、事例発表や意見交換を行います。

< 分科会 (13:15~16:30) の概要 >

第1分科会「ごみの処理費は誰が払うのか」

各自治体の税収は右肩下がりとなっている現在、ちっとも減らないごみの処理費をこのまま税金で賄い続けて良いのでしょうか、埼玉県内の実情をデータで示します。講師もお招きします。一緒に意見をワイワイ出し合いましょう。

講師 NPO法人ごみ・環境ビジョン21 服部美佐子氏

発表 中澤啓子氏 竹村元宏氏 (埼玉エコ・リサイクル連絡会)

第2分科会「どうなっちゃうの？レジ袋！」- レジ袋有料化が、改正容リ法で急浮上 -

現在、改正案でレジ袋の有料化が検討されています。レジ袋削減が、ストップ地球温暖化のための有効策となるには、流通・消費のどこがポイントなのか、日本チェーンストア協会の意向も直接聞きながら、共に考えましょう。

講師 イオン環境・社会貢献部部長 上山静一氏

ヤオコー営業企画室環境問題実務局 根岸俊文氏

第3分科会「京都議定書簡単クリヤー、省エネ・新エネ活用術」

初めに省エネゲーム「なるほど納得ものぐさ省エネ術」を行い、ついで講演「自然エネルギーの種類と活用」、最後に会場からの質疑・意見交換をします。面白いよ来てね!!

講師 NPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ 山崎求博氏

発表 外谷富二男氏 (埼玉エコ・リサイクル連絡会)

16:30 分科会終了

17:00より503・505にて交流会を行います。

“よくわかる容器・包装リサイクル法”

10月20日(木)10時より、「川口市総合文化センター(リリア)」において、(財)日本容器包装リサイクル協会 前 広報部長 土井敬和氏を講師に迎え、エコ・リサ主催の講演会を開催した。

講演会の目的は、現在、見直しが進められている『容器・包装リサイクル法』について、更なる勉強を行うことであった。

表題は“よくわかる容器・包装リサイクル法”としてお話を聞く予定であったが、講師からは、冒頭「表題から推測すると、法施行後10年経って、エコ・リサの皆さんでさえ、まだよくお分かりいただけていないということだと思ふ。しかし、この法律を“よくわかっていただく”ためには、とても1~2時間では無理で最低でも3時間は必要です」とのお断りがあってお話が始まった。

施策の基本理念や手法は

排出者責任...先ず、ごみを出す人に責任を持ってもらうこと。[分別・排出]

拡大生産者責任...従来の一般廃棄物は、衛生・安全を維持するために、自治体が責任を持って処理していたが、この法では収集・保管の責任を負う。[収集・保管] また、生産者にも責任を持ってもらう。[再商品化 費用負担]

経済的手法の活用...容器・包装類を“ゼロ”にすることは難しい、であれば企業は安くする(製品の肉うす対策など)ことを考える。

ことを前提に定められたものである。

廃棄物の減量化と資源化の推進

容器包装類は一般廃棄物の容量のうち約6割(重量では約2割)を占める。また、最終処分場(埋立地)の寿命もあと数年といわれている。これらの背景から種々のリサイクル法のひとつとして制定されたものである。

制定・施行から見直しまで

この法律は、平成7年に公布・施行され、9年に分別収集・再商品化の本格施行、12年に完全実施がなされ、現在、施行10年後の見直しが行われているところである。

容器包装リサイクル法の概要 <紙面の枠が限られているので、興味のある部分のみ記すことにする。>

役割分担と問題点

(1)消費者は「分別・排出」を行わなければならない。...適正な分別を行うことによって、法律制定の効果が上がる。しかし、これがなかなか難しい面がある。

(2)排出物(対象品など)の集め方は、各自治体に任せられている。...地域を移動(転居など)すると、その違いに戸惑うことが起こる。

(3)企業(生産者・利用者)は、その量に応じて再商品化の費用を負担することになっているが、大手スーパーなどが負担増に対して見直しの要求を強めている。

(次ページへ)



容器包装の定義<非対象商品について：一例>

(1) クリーニングの袋は...販売するための包装ではなく、洗濯という行為を包んでいるだけなので<非対象>。

(2) CDなどのケースは...すぐに捨てるものではなく、ほぼ商品と一緒に利用するから<非対象>。

(3) PETボトルは...最も材料リサイクルがし易い製品であるが、飲料水・酒・醤油の容器に限られている。油などの容器にも使用されているが、汚れを除去することができないのでこれらは<非対象>。洗剤で洗っても現在ではその洗剤を取り除くことは絶対にできなく、万一、洗剤が少しでも付いていると、リサイクルの洗浄過程で泡だらけになってしまう。

再商品化とは

市町村の保管施設から再生加工施設へ運び、再生加工され、商品価値を持った原料等にするまでのことを言う。最終末端商品である、びんやカーペットなどの製品を作るのは、再商品化の範囲外である。

以上、まだまだ勉強になる“わかりやすい”お話は続いたが、それでもレジメの半分くらいを残して、時間切れとなってしまった。

高木会長は、最後のご挨拶の中で「よくわかった」部分と「まだまだわからない」ところが多く、今後も勉強を続けたいと講師にお礼を申し上げ、今回の講演会を終えた。

[文責：小野 浩]

朝日環境センター見学

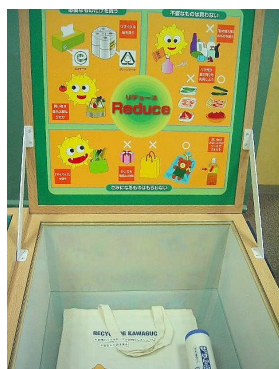
同じく10月20日午後2時30分より川口市にあります、『朝日環境センター』と『リサイクルプラザ』を見学しました。

施設概要ビデオ説明の後、ごみ焼却処理施設見学では、担当の方に熱心に質問する参加者の姿がありました。

この処理施設の総工費は131億円(焼却炉+建物)、420t/1日、12万t/年で、ごみ全体の6割を処理しています。

リサイクルプラザでは、95t/1日の資源ごみを5時間稼働で処理し、余熱利用施設としてプールとお風呂があります。ゲーム感覚で体験出来るごみの問題や、3Rの展示も大変わかりやすく工夫されていました。

Reduce<リデュース>(減らす) Reuse<リユース>(再使用する) Recycle<リサイクル>(再生利用する)





JCコーナー

2005年度 社団法人日本青年会議所 関東地区
埼玉ブロック協議会 会長 神山 憲秀

「新たなる時代への絆の挑戦 ~ 埼玉ブロック太陽のごとく ~」というスローガンを掲げ、埼玉ブロック協議会の30青年会議所、2000名のメンバーと共に1年間運動展開をしてまいりましたが、単年度制と言う青年会議所のルールの中で（1月1日から12月31日を任期として役員が変わる）1年間が終わろうとしております。

2005年度埼玉ブロック協議会では、現在の日本の社会は、今まででは考えられなかった、目を覆うばかりの信じられないような事件が多発し、また企業倫理を問われるような事件も数多く見受けられる中で、こういった出来事の原因は、戦後60年の社会構造、もしくは教育が生んだものであり、営利主義における保身や個人主義の横行と捉えました。そして今こそ我々青年の青臭くまっすぐに正義を貫く行動により現在起きている社会的問題の全てを解決はできなくとも、明らかに少なくなったと思えるような、新しい社会を創らなくてはと様々な事業に取り組みました。その中でも、今の社会に足りないのは、人と人との絆が少なくなっているのだろうと考え、今失われつつある「心」と「心」の結合によってできる「絆」をもう一度育む事業を展開しようと考えました。そしてこれらに取り組みにあたり、我々青年会議所メンバーは地域にとっての太陽のような存在であろうと声を掛け合ってやってきました。

エコ・リサの高木会長をはじめとする皆様にも大変お世話になった、第35回埼玉ブロック会員大会・ハートフルフェスタ2005年では、地域を構成するNPOやボランティアの皆様、企業の皆様、行政の皆様をはじめ様々な方々との絆により事業を構築し、3万人を超える県民の皆様に対してこれからあるべき地域創りは行政ばかりに頼るのではなく、地域を構成するみんなで創っていくべきであるという理想の地域の姿を発信することができました。その他にも多くの県民の皆さんの意見を集約し作成した、教育に関する提言を上田知事に提出し、新聞紙上でも取り上げられたり、多くの皆様の絆によって、多くの成果を残すことができました。

結びに、昨今武士道が見直され、数々の書物が出版されています。愛する地域の為、己が信ずることに心血を注ぐその精神に触れるに付け、時代は違えども、私にも沸々と湧き上がるものが存在します。この郷土埼玉を愛する若者として、この地域の為に今自分が何をなすべきか。志し高き者との熱い絆、まわりの全ての人との絆を創造すべく、しなやかで、たくましく、粘り強く困難に立ち向かう姿勢「韌」と、他を思いやり、いつくしむ心を持ちながら「仁」、そのある限りを惜しみなく出し切って使い「尽」、多くの仲間と共にこれからも行動してまいります。

2006年1月1日からは、埼玉ブロック第39代会長として、社団法人八潮青年会議所から猪野塚弘樹君が務めます。2005年度同様変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。1年間大変お世話になりました。

環境フェスタ SAITAMA 2005 in 所沢の報告

12月3日(日)、環境フェスタ SAITAMA 2005 in 所沢が所沢市民文化センターで開催されました。

センターのホールの周りでは、県内の環境グループ、企業の展示があり、隣の航空公園の、文化センターそばの広場では、フリーマーケットがくりひろげられていました。

第1分科会 = 3Rのすすめ

第2分科会 = みんなで取り組むエコライフ

第3分科会 = 環境学習最前線

第4分科会 = 環境にやさしい交通の取り組み

第5分科会 = 企業が取り組むエコアップ宣言

午前中は、5つの分科会が開かれ、各地の実践が発表されました。

分科会のひとつ「3Rのすすめ」では、3つの取り組み発表がありました。

(株)ジェイ・アール・エスは、所沢市内の48小・中学校の調理屑や食べ残しなどを飼料と肥料にリサイクルしている実績を紹介。・・・スライドで紹介された、給食の食べ残しのパンやおかずがあまりにも多く残っていることにビックリしました。

朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会は、廃食油利用の固形石鹸づくり、古布の裂き織り、布ぞうり作りなどの活動、市との共催による環境大学開催、年4回の啓発誌の発行などを紹介。特徴として、駅の近くなので、人があつまりやすいことがあげられていました。

厚木なかちょう大通り商店街は、キッチンリサイクル(生ごみを家庭から買取り、堆肥化することにより、持込者にはエコマネーと交換する)、空き缶・ペットボトルを回収してゲーム券などと交換する、街路灯を太陽光発電のものに交換した。などの実績を紹介しました。

午後は講演会と発表がありました。

北野大さんのお話は、「やさしい環境講座・・・持続可能な社会のために」と題し、環境問題の大きな視点でのわかりやすい解説でした。

海老名香葉子さんのお話は「“もったいない”の心で毎日を」でした。

最初は落語家の家庭の最近漬物を漬けたことなどの生活ぶりから始まりましたが、戦前の海老名さんが生まれた、本所深川の商店街の、ものは豊富にはなかったものの、隣近所助け合い、楽しさも分け合う「いきいきした生活」が、目に浮かぶようなお話となりました。さらに疎開先で「東京大空襲があり、本所深川は全滅」と知り、すぐ上の兄と二人だけが残り孤児となってしまったあとの「その日暮らし」の毎日、春になり、はこべなど青草をみて「あーこれでなんとか生きていける」と感じ、フスマ入りの雑草汁を飲んで飢えをしのいだという体験をさらっと、語られました。8歳で孤児となってからの、悲惨ともいえるような生活をたくましくのりこえられたのも、下町の生活の中で大人たちの語りかけや、生活から学んだ「生きる力」とシンプルで理にかなった生活の技、人とのつきあい方、距離のとり方などが体の中に沁みこみ、十分につちかわれていたのだと思われました。次世代の子供たちに「生きる力」をつちかっていくのは、環境問題の芯の部分といえるでしょう。

未だ「もったいない」と孫の鼻をかんだちり紙をエプロンのポケットにしまい、あとで、使うという暮らしぶり、賞味期限なんて気にしない、ということなども笑いをまじえて語ってくださいました。海老名さんはなにより説得力のある「もったいない」を語る最適な人でした。

そのあと、所沢・生命と緑を守る会の「エコライフデイのとりくみ」と明峰小学校の「トコロキッズ地域エコクラブの生ごみ堆肥による花づくり」の発表がありました。

(報告 小野・園田)

彩の国リサイクルデータバンク「データベースのバックアップ体制構築」

システムの運用開始当時からの懸案事項であった「データベースのバックアップ体制」が、この度構築され本格的な運用に入りました。この結果、登録して戴いたデータの保全管理及びシステムの簡易操作が可能となり利用者へのサービスが一段と向上しましたので一部をご紹介します。

【データベースの移行概要】オリジナルサーバ(fuyo-hin.com/)に登録済みのテーブルデータ(フリーマーケット、不用品出品データ等が現状10テーブルに分割して登録済み)を任意のPCに必要とするテーブルデータを選択しダウンロードします。次にバックアップサーバ(3098.pr.arena.ne.jp/)に対して、該当するテーブルデータをアップロードして保管します。

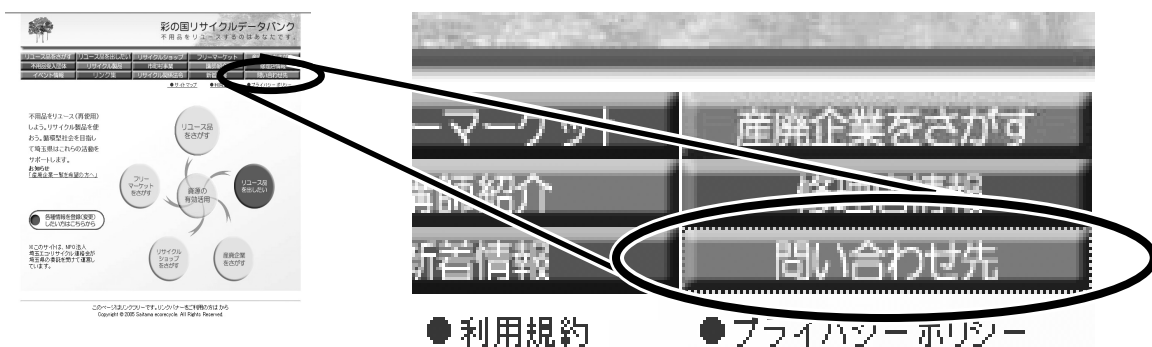
万一、オリジナルサーバ上で「システムダウン、データ誤消去等のトラブル発生時」には、バックアップサーバに保管してあるテーブルデータを再登録し、復旧を図る事と致します。

システムの保全には、万全を期すつもりでおりますので、今後も皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。(清水 守)

彩の国リサイクルデータバンクへの ご意見ご感想お待ちしております

彩の国リサイクルデータバンクでは、より使い易いサイトをめざして、利用者の方からのご意見、ご感想をお待ちしております。

「ここがこうなっていたらいい」「こういう機能があると便利」などのご意見がありましたら、トップページ右上の『問い合わせ先』ボタンからEメールにてお伝え下さい。E-mail: info@fuyo-hin.com



まだ彩の国リサイクルデータバンクを使ったことがない、見たことがないという方は、<http://fuyo-hin.com> までアクセスしてみてください。

それでは皆様のご意見、ご感想お待ちしております。(佐藤 洋治)

賛助団体のご紹介

(株)谷澤商会	富士見市
(株)大任工務店	熊谷市
(株)さしま通商	幸手市
(株)清水金物	秩父市
(株)相馬建設工業	川口市
(株)高読	幸手市
吉見商事(株)	熊谷市
森田光一さん	東松山市
読売旅行春日部営業所	春日部市
(社)日本青年会議所 関東地区埼玉ブロック協議会	...順不同...

ご支援・ご協力ありがとうございます。

エコ・リサ連絡会 入会のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

会費(年間)	個人会員	2,000円
	団体会員	3,000円
	賛助会員	10,000円(1口)

お願い：エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。よろしくお願いいいたします。

郵便振替口座番号 00110-7-764571 加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559

名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

* 会費納入の際のご注意

郵便振替で入金される方は、お手数ですが通信欄に新規会員あるいは 会員 年度分と明記の上、お振り込みをお願いいたします。(事務局)

事務所のご案内

〒330-0846 さいたま市大宮区大門町 3-205 新井ビル303号室
(JR大宮駅東口から徒歩8分)

FAX 048-642-6163 <http://www.townnavi.info/eco-risa>

NPO現代座の公演情報「約束の水」埼玉公演のお知らせ！

生き物すべての命を 人の暮らしを支えている水 地球の汚染で 水の汚れが増している
水を通じて 暮らしの環境をみんなで考え見直そう！！

(約束の水)は人間の心に“水が飲める感謝”を取り戻してくれる

2006・2・22(水) サンシティ越谷ホール 小ホール 開演 19:00 開場 18:30

前売券 一般 3,000円(当日 3,200円) 小中生 2,000円(当日 2,200円)

主催 「約束の水」を見る会 問合せ 090-1261-0365 現代座中村

2006・2・24(金) 熊谷市立文化会館 開演 18:30 開場 18:00

前売券 一般 2,000円(中学生以上) 親子券 3,000円(親一名・小学生一名)*50組限定

主催 くまがや市民活動ふれあいネットワーク 問合せ 090-6107-4504 森松

090-1261-0365 現代座中村

～編集後記～

気づくと2005年も残りわずかになり、大掃除も出来ずに編集している・・・2006年は何が出来るか！
どこまで出来るか・・・一人では出来ないことばかりを痛感した一年でした。 宮田